

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102245
法人名	石井オアシス・ケアサービス株式会社
事業所名	グループホームおあしす
所在地	松山市北久米町1004番地7
自己評価作成日	平成24年9月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成24年10月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「急がずゆっくり」自分達のペースで入所の皆さんが動くのではなく、私達が皆さんのペースに合わせます。という思いを持ちながら、無理のないゆっくりした空間作りがもっと出来る様今頑張っています。ご家族が安心してご自分達の生活が出来る中で、定期的にいっつも足が向くホームでありたいと頑張っております。入所の方々とスタッフの仲が良く、バカもいいながら日々笑いのあるホームです。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>●あまり思いや意向を話さないような利用者に、職員は、ご本人が居室に居るような時、ゆっくりお話を聞くようにされている。又、介護度重度で言葉をうまく話すことができないような利用者には、表情や視線の先等もみて、思いや意向を汲み取るようにされている。得た情報は、日々の介護記録に記したり、カンファレンス時にも職員間で情報交換や共有できるよう、取り組まれている。</p> <p>●地域の避難場所は近くの高等学校だが、車いすを使用する方には遠いため、協力者が駆けつけるまでは、お隣のお宅の庭を一時避難場所として使用させてもらうようになっている。「火事を出さない」「放火に気を付ける」ため、火災チェック表を作成して、日勤・夜勤者が敷地内の確認を行なっておられる。居室の掃き出し窓から地面に、簡易の階段を設置され、直接窓から避難できるよう改修された。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

石井オアシスケア・サービス有限会社

(ユニット名)

グループホームおあしす

記入者(管理者)

氏名

藤岡 まゆみ

評価完了日

平成 24 年 9月 28日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「尊厳・優しさ・笑顔」の理念の下、個々の様子観察させて頂きながら、毎日元気な声・笑顔で一日最低でも1回は皆様が笑顔を見せて頂ける様頑張っております。	
			(外部評価) 事業所では、理念の中でも特に「笑顔」を大切にされた支援に力を入れて取り組んでおられる。管理者は、職員に日々の中で「利用者の表情をみながら、笑顔で言葉かけしてほしい」と話しておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 夏の暑い間や冬は難しいですが、散歩に出かけ犬の散歩をされておられる方々との会話を楽しませて頂いています。町内の行事参加・近くグループホームあゆみさんとの交流、城南高校・福祉課の学生さんが学校が終わってお話しに来て下さる日もでき、いい流れが出来てきております。	
			(外部評価) 事業所前の道は、犬を散歩する地域の方が多いことから、事業所では、犬が水を飲めるように用意しておられ、散歩中に立ち寄れるようにされている。近くの高等学校から、「実習時だけでなく、放課後も立ち寄らせてほしい」とお話があり、時々、数人の生徒が立ち寄ってくれ、利用者と一緒にゲームしたり、お話してくれている。地域祭には、神輿や獅子舞が来てくれ、利用者の中には手を合わす方もみられるようだ。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で日常悩んでいる事を相談、意見を聞かせて頂いたり、地域で認知症の方への理解を求めている行事に参加させて頂いております。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 町内行事への参加・協力を努め、参加出来る行事へ入所の方々が参加され外での楽しい時間を持てる事も出来ました。在宅で生活されておられる独居の方、介護されているご家族様の話しを聞くことで、初心に戻り家ではないが、「安心してここでもいいね」と言って頂ける介護である様日々頑張っています。	
			(外部評価) 会議には、町内会役員や民生委員、地域の方、利用者が参加されており、近所にあるグループホームとも相互に参加し合っておられる。事業所から「地域との交流を今以上に深めたい」と相談したところ、「積極的に地域の行事に参加してはどうか」「事業所の行事やお知らせを広報で配布しましょうか」と助言をいただいた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議、行事に参加して頂いている時は話す時間を持ち最近の状況や注意事項等多くの意見を頂く事が出来ている。解らない事がある時は、電話や保険課へ行き意見・指導を受ける事が出来ます。問いかけにいつも気持ちよく相談にのって頂けるので、安心して頂いています。	
			(外部評価) 運営推進会議には、市の担当者や地域包括支援センターの方が参加していただき、会議の内容やすすめ方について意見やアドバイスを出して下さっている。地域包括支援センター主催の学習会には、職員が参加して、他事業所と交流されており、ケア等について相談する機会にもなっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束は行わないとの目標をあげ、4点柵をする前に出来る環境を提供させて頂いています。今後も、よほどの状況で無い限り頑張っていきたい。拘束をしないでの介助について、心配な面もあるでしょうがご家族の理解の上行なえている事に感謝しています。	
			(外部評価) 前回の外部評価実施後、運営推進会議時、「身体拘束を行うことのメリット・デメリットについて」メンバーと話し合い、居室の窓の鍵の解錠への取組みにつながられた。利用者がベッドから立ち上がる際、ふらつきがある利用者には、足もとにセンサーマットを敷き、利用者がベッドから足を降ろすと職員に分かるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 私達が一番気をつけるべき、言葉での気がつかない中での暴力ではないか。日々話し合い互いに注意しあいながら虐待のない(当然の事ですが)安心して過ごせる環境の提供に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 自立支援については、随時援助の状況により話し合いを持っていますが、後見人制度について皆が理解出来ているまでに至っていない。どのような事かの理解は、おひとり利用されておられる方がお知り事が出来ている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前及び入所時に、なるべく理解して頂ける様話す様に努めています。来設時には、ご家族様との会話を持つ事で、気になる点等あればお聞きしその都度説明出来る様努めています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 各ご家族の状況について、スタッフへは申し送りノートやミーティング時伝える流れが出来ているが、入所されておられるみなさまの意向、要望をすべて把握出来ていない。 (外部評価) ご家族が事業所の行事に参加された際には、利用者の様子を見ていただきながら、支援への要望を聞き取るようにされている。職員の異動があった場合は、ご家族の来訪時に、職員が直接挨拶をされている。ご家族から「職員の名前や顔がわかりにくい」という意見があり、今後、玄関に職員の写真と氏名を掲示することを計画されていた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング・個別にいつでも意見、質問を聞き易い状況である様努めています。今節電・節水となる様頑張っています。	
			(外部評価) 管理者は、手紙や写真をご家族に送付して、日々の様子を知らせておられたが、新たに、利用者個々の担当職員を配置して、担当職員が毎月、手紙でご家族に近況報告する仕組みを作られた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 個々の状態を把握出来る様努め、随時スタッフと話せる状況を確認している。6ヶ月に1度個々の評価をつけて貰い、上司に挙げており、フルパートの流れが出来ました。まだまだ難しい状況ではあります。	
			(外部評価) オアシス合同勉強会、地域密着型サービス協会主催の研修に参加出来ています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 小野・久米地区グループホームでの交流会に3ヶ月に1度参加し、いろいろ意見の交換ができ取り入れたい事等工夫してくれている。	
			(外部評価) 小野・久米地区グループホームでの交流会に3ヶ月に1度参加し、いろいろ意見の交換ができ取り入れたい事等工夫してくれている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 小野・久米地区グループホームでの交流会に3ヶ月に1度参加し、いろいろ意見の交換ができ取り入れたい事等工夫してくれている。	
			(外部評価) 小野・久米地区グループホームでの交流会に3ヶ月に1度参加し、いろいろ意見の交換ができ取り入れたい事等工夫してくれている。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 御本人の意向もですが、ご家族・入所前の病院等での様子や注意点を把握し援助をしています。ご本人からは中々様子がつかめない事もあり、ご家族等からの情報が多ければ多いほど表情が落ち着かれる時間が短い様に感じます。	
			(外部評価) 御本人の意向もですが、ご家族・入所前の病院等での様子や注意点を把握し援助をしています。ご本人からは中々様子がつかめない事もあり、ご家族等からの情報が多ければ多いほど表情が落ち着かれる時間が短い様に感じます。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人の前では話せない事、ご本人が傷つく事もあるので、最後にご家族との時間をもち、お話を聞かせて頂いている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状態、希望等お聞きし、支援出来ている。対応が、難しい状況の時はここで出来る支援を理解して頂き、ご本人・ご家族が安心出来るサービスに努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 出来る事や関心のある事を見極め、少しでも出来る事はして頂いたり個々ご本人が一番いい呼び方で声かけ介助の時も会話を忘れず、互いに良い関係を築く様支援している。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々様子の報告や行事参加の声かけに努め、普段からご本人に支障のない範囲でご家族の話しを交えた会話を持つ様にしている。来設をしたくないと考えておられる方もある為、無理にでなく少しでもホームへ関心をもって頂ける様電話、手紙で状況をお伝えさせて頂いている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ホームへ来設され易い環境である様努めていますが、場所という意味では、難しい。一度よく行かれていた場所へお連れしたく車椅子での訪問を聞くと、難しいと断られた事あり。又お話しではいろいろ話されるも、行きたいと思う気持ちとは違う事が多いです。今後も出来る範囲で支援していきたい。 (外部評価) 病院から直接入居となる方も複数あり、馴染みの方とのおつき合いが薄れている状況もあるようだが、利用者は、入居後、顔見知りになった近所の方とお話されたり、2ヶ月に1回来てくださる訪問理容の方とお話することを、楽しみにしている方もある。「以前よく行っていた居酒屋に行ってみよう」と、利用者から希望があり、その居酒屋に相談をされたが、「車椅子では難しい」とのことで、実現するまでには至らなかったようだ。	ご家族や利用者ご本人から「以前の生活の様子」についてうかがいながら情報を得て、利用者個々の思い出の場所や懐かしい場所、行きたい所を探り、出かけてみるような取り組みにつなげていかれてほしい。運営推進会議等で話し合う等して、実現に向けた支援にチャレンジしていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 個々の性格があり、特に女性の中でスタッフの見えない場面で言葉の暴力があったりする為、随時スタッフが見守りや間に入る事で互いが傷つ事が無い様努めている。皆さんでの時間をもちレクリエーションやお話しをし、楽しい時間を提供出来る様努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も、しばらくはご家族と連絡を取らせて頂いています。状況により必要なサービスに関する情報の提供を行い退所された後でも、来て頂ける環境の提供に努めている。長期入院にて退所時も、お見舞い・連絡をとる様にしている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の日々様子をみながら、ご本人にあった生活が送られるよう会話や共に行動する事等で把握できる様努めている。 (外部評価) あまり思いや意向を話さないような利用者にも、職員は、ご本人が居室に居るような時、ゆっくりお話を聞くようにされている。又、介護度重度で言葉をうまく話すことができないような利用者には、表情や視線の先等もみて、思いや意向を汲み取るようにされている。得た情報は、日々の介護記録に記したり、カンファレンス時にも職員間で情報交換や共有できるよう、取り組まれている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時家族より話して頂いた内容を下に、いろいろな話しをして頂ける様にしているが、スタッフ同士で情報の交換まで、しっかりした個々の記録までは出来ていない。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の介助の中で観察を行い、随時出来る事を見つけたり逆に負担になっておられる事はないか、歩行状態、食事の様子を把握しご本人にあった支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			介護計画は記録時必ず見る状況とし、援助の内容で疑問問題が出ると、スタッフから意見がある。また毎月のミーティング時個々の報告・問題点について話しあっている。	
			(外部評価)	
			管理者が介護計画の案を作成し、さらに、利用者・ご家族・職員の意見や要望、又、医師からのアドバイス等を取り入れ、介護計画を作成されている。日々の介護記録に介護計画の支援内容を番号で示し、毎日○・△でモニタリングして、さらに、気になることを書き加える仕組みを作っておられ、計画の見直しにつなげておられる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			申し送りファイルに日々様子で変化、介助の変更を記載しスタッフが同じ援助が出来る様努めている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			ご本人にとって、どうすればよいか常に考えながら個々の援助にスタッフ皆努めてくれています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			訪問で美容師さんが2ヶ月に1回こられ、皆さんカットされた後はいつも、とても嬉しそうなお表情を見せて下さいます。近くの城南高校福祉課の学生さんとの交流、介護タクシーで安心した病院受診が出来ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 現在2つの病院より往診の協力ご本人・ご家族の意向を確認の上適切な診察を受けています。ただ現在夜間の救急・祝祭日の受診対応が困難な為そういう場合どうすれば一歩良い方流れが出来るか検討中です。	
			(外部評価) 2週間に1回、2箇所の医療機関から往診に来られており、利用者は、それぞれのかかりつけ医に診てもらっている。日中は、いつでも相談に応じてもらえるようになっている。歯科は、訪問診療を利用されている。受診する際には、利用者の日頃の健康状態や治療の状況を記入した「健康チェック要約表」を持参して、医師に利用者の現況を正確に伝えられるような仕組みを作っておられる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 随時その方にあつた援助に努めています。医療が必要になると常勤の看護師がいなくて入院治療の流れとなっており今後点滴等で、ホームでの治療が可能な状態を作りたく医療での訪問看護支援を病院と相談したく検討中です。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院に関しては、近くの生協病院の協力の下必要に応じて入院出来る様になっており、緊急で他病院入院時は、ご家族、ご本人の希望に添い転院の流れの協力を得ています。入院時入院中随時訪問し、声かけや出来る協力支援として	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 往診の先生とご家族(可能な方は本人)ではお話しを持ち意向に沿った支援協力を得ております。医療が長期で必要になると対応が困難なのですが、服薬往診で「ここで出来るだけ最後まで住みたい。」気持ちには出来るだけ答えたいと皆頑張っています。	
			(外部評価) 利用者の状態変化時には、ご家族と今後のことについて話し合い、希望をうかがったり、事業所でできること等を説明されている。これまで看取りを支援した事例はないが、現在、「最期までホームに居たい」と希望する利用者もあり、職員全員で看取りについて勉強できるよう、学習会等にも参加されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 8月末にAEDを設置し、9月にスタッフ全員で救命講習を受け、今後も救急対応の時間をもっていきたいと皆感じています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 南消防署の協力を得て、災害時の避難について学んでいます。城南高校での避難訓練にも入所の皆さんも一緒に参加し話しを聞く事が出来ました。月1回避難訓練の日を作ろうと話しているのですが、まだ出来ていません。	
			(外部評価) 近くの高等学校で3月に行われた避難訓練時には、利用者全員が参加して、地域の方と一緒に防災クイズに参加したり、移送方法を見学された。事業所にはAED(自動体外式除細動器)を設置されており、9月には消防署の方から使用方法の説明を受けられた。地域の避難場所は近くの高等学校だが、車いすを使用する方には遠いため、協力者が駆けつけるまでは、お隣のお宅の庭を一時避難場所として使用させてもらうようになっている。「火事を出さない」「放火に気を付ける」ため、火災チェック表を作成して、日勤・夜勤者が敷地内の確認を行っておられる。居室の掃き出し窓から地面に簡易の階段を設置され、直接窓から避難できるよう改修された。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日々話し方や、部屋へ入る時の声かけ(耳が聞こえない・逆に驚く方にはその方にあった対応)に気をつけています。知らず々言動がきつくなっている時は、スタッフ同士で注意しあう様に努めています。	
			(外部評価) 管理者は、「利用者に、決め付けた話し方はしない」ことを職員に伝えておられる。職員が無意識に話しているような場面があれば、管理者や職員同士で注意し合うようにされている。職員は、「利用者は目上の方と意識し、馴れ合いにならない」よう、気を付けるようにされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 介助時ホームで過ごされておられる等、声かけがあればすぐ返事近くへ行って話しを聞く様にしておりますが、はっきり理解出来なかったり、急に興奮され逆に見守りで、落ち着かれるまで様子を見て接する事も度々ある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 難しいですね。一定の流れの中で声かけながら援助しており、またその方の希望という事があまり聞かれない。入浴が嫌、今日はしんどいから寝たい、今はトイレに行きたくないという訴えには対応出来るのですが。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的にかットに来て下さる美容師さんがおられる事で、いつも整っておられると共に、カット後の皆さんのスガスガしげな表情を2ヶ月に1回見させて頂いています。服も選ばれる方はご自分で、一日何度も着替えており、汚れたらすぐ着替えて頂く様にしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 休憩時間に入っているスタッフの協力もあり、スタッフの賑やかな声の中お食事時間を一緒に過ごしています。普通・キザミ・ミキサ一食と個々にあった食事を提供しております。 (外部評価) 日曜日以外は、決まった献立で業者から食材が届くようになっており、職員は、アレンジしながら食事を作っておられる。日曜日には、利用者の希望をうかがいながら、うどんやお好み焼き等を作っておられる。もやしの根とりやゴボウのさがき等、利用者も下ごしらえ等にかかわることもある。調査訪問時の昼食前には、利用者と職員で足踏み体操や口腔体操を行っておられた。片麻痺のある方には、スプーンですくいやすいように、お寿司をグラタン皿に盛っておられた。職員は、利用者と同じものを食べながら「おいしい？味付けはどう？」と感想を聞いておられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量の把握、食事量チェック、好き嫌いの把握にて健康で過ごして頂ける様支援出来ている。多く水分をとれない方へは、1回分を少なくし本人の希望時に飲んで頂ける様気をつけている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケア介助、定期的歯科検診(往診)にて清潔に努めています。歯科医の指示の下個々注意して行く事の指導を受ける事が出来ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価)</p> <p>日中は皆さん紙パンツをされ(お1人下着使用)とトイレでの排泄を支援している。夜間は尿量が多い方が多く自室にトイレが無い為オムツの方・トイレに行かれる方ポータブルトイレ使用の方とその方にあった支援に努めています。夜はぐっすり眠って頂く事を重視している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>排泄チェック表で確認しながら、職員は、トイレ誘導を行っておられる。介助の必要な利用者の排泄時、職員は、トイレに立ち合っておられたが、利用者の排泄が上手くいかず、「少し外しますね」と、ご本人に言葉をかけてその場を離れることを試され、排泄につながった事例がある。職員は、利用者の立場に立った支援の大切さを感じられたようだ。</p>	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>個別に飲むヨーグルトや青汁を頼まれておられる方、お茶寒天を水分摂取時お出しする、マッサージで自然排便を促すなど支援していますが、中々難しく緩下剤服用・姿勢が悪くなられたら浣腸施行となり日々どうすればトイレでの排便が出来るか検討しあっています。</p>	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人の希望に合わせて入浴は出来ていない。行事やお出かけがある時はそちらを優先し午後入浴とする事はある。足浴介助や夏の間は当日入浴されない方のお昼寝で部屋で休まれる時足を拭く様にしてみました。</p> <p>(外部評価)</p> <p>皮膚の弱い利用者には、石けんをネットで泡立ててから体を洗えるよう支援されている。事業所は、現在週2回、入浴できるよう取り組まれており、すべての利用者が浴槽で温まれるよう支援されている。入浴を拒む方には、時間をおき声かけする等して支援されている。利用者が入浴を楽しめるよう、入浴剤を使用したり、脱衣場でラジオを流すようにされている。今後さらに、利用者一人ひとりの入浴の習慣や好み等を大切にされた入浴支援に工夫して、取り組んでいかれてほしい。</p>	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>部屋の温度調節、清潔にされた布団、定期的パット交換により不快なく、気持ちよく休まれる様努めている。体交の出来ない方は定期的に体位交換、発汗時汚染時早めの交換で不快感を最小限に出来る様努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ファイルに個々服薬されておられる薬の説明書をまとめ、いつでも見られる場所におきスタッフへ把握して貰う様話している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) お手伝いをご自分の仕事として頑張られる方へは、お願いして手伝って頂く。レクリエーションの時間を皆さんが、興味を示された事を定期的に取り入れる様にしている。アルコール0ビールは今も楽しんで飲まれておられる。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) しっかりされておられる方は、ご家族の協力で外出の機会を持っている。他の方々は以前はホームの行事の花見や近くの散歩が主だったが、今年は他ホームの夏祭りや高校の体育祭見学とみんなで行ける事ができ少し進歩出来たと、スタッフが一番喜んでいる。町内の方からも、何かあれば声をかけて頂いており感謝している。 (外部評価) 事業所の周辺は、川が流れ田畑も多く、季節を感じながら散歩できる環境となっている。利用者は、日々職員と一緒に散歩されたり、春には、お弁当やお菓子を持って、ご家族と一緒に緑化センターに花見に出かけられた。	事業所では、「利用者みんなで外出する機会が少ない」ことを感じておられる。車の手配や職員の人員等のこともあるだろうが、今後さらに、みなで出かけて楽しんだり、又、個別でも出かけるような機会を積極的に作り、利用者が地域の中に出かけていき、いろいろな人とかわりながら生活できるよう、支援に工夫を重ねていかれてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が持たれる事は難しい為、ホームでお預かりしており必要に応じてご家族の了解を頂き、買い物援助している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時電話をスタッフがかけてかわる事はあるが、ご自分から電話したり、手紙のやり取りをされる方は少ない。県外の子供さんへ時々スタッフが状況報告を兼ね、電話しお話しをして頂いている。内容解られない事が多いが子供や家族と話す事でとても良い表情を見せて下さる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食事のお茶碗やコップは個々違う物となっている。皆さんの様子をみながら洗面台の横に椅子を置いたりもしてみたがあまり使われていない。季節の花を玄関や洗面台に飾り、室内にも飾る様に努めている。毎日の掃除にて清潔を保つ様になっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関先のプランターや植木に水やりをしてくださる利用者もいる。調査訪問日は暑さもまだ残っており、職員は、利用者にも暑くないかうかがいながら、窓を開ける等して温度調整されていた。日中は居間で過ごされる利用者も多く、調査訪問日の午前中は、テレビで時代劇を見たり、職員や利用者同士でおしゃべりしながら過ごしておられた。壁には行事の写真等をまとめた壁新聞を掲示しておられ、利用者がみたり、お話のきっかけにされている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食堂兼ホールにソファを置く事で、一緒に座りおしゃべりをされながらテレビを見られたりされている。歩かれる方は部屋へ帰りたい時に帰り、ベットで横になったりテレビを見たりされておられる。皆さんホールで時代劇を見られるのが好きな様子です。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族にお願いして今まで使われたおられた物をもって来て頂いている。泊まりの部屋は無いので必要時本人のお部屋で泊る形をとっている。ご自分が毎月作成したカレンダーや家族との写真・動物の写真を飾っておられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の入り口には、利用者個々に表札と写真・ご本人の紹介メッセージを付けておられる。お気に入りのぬいぐるみと一緒に休む方がおられ、ご本人が、「この子と、いつも一緒なんよ」と、大切にしていることを話して下さった。室内の乾燥を防ぐために、夜間は、濡れタオルをハンガーにかけて加湿されている。掃除やクローゼットの整理は、利用者職員で行っておられる。仏壇を持ち込み、時々手を合わせておられる利用者もいる。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分で行動出来る方は、出来る事・したい事を本人ペースでして頂き他の方もスタッフと会話や運動等されておられる。随時見守りや介助にて安心した環境の中生活して頂ける様日々スタッフは頑張っています。</p>	